

# ラジオカセットコーダー

## 取扱説明書

### Operating Instructions (page 52)

XXXX

XXXX

お買い上げいただきありがとうございます



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、  
製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくださ  
い。

# WALKMAN

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。  
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation.

xxxx

xxxx

## WM-GX677

## 安全のために

### 危険

- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の+と-がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

#### ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコ-ダ-の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断では使用できません。

# 目次

主な特長	4
付属品を確かめる	5
準備する	6
テープを聞く	8
ラジオを聞く	10
録音する	14

## テープを聞く - 応用

本体で操作する	18
好きな曲を頭出しする (AMS)	19
テープ走行のしかたを選ぶ (PB MODE)	20
ドルビーB NRで録音されたテープを再生する	22
指定した区間を繰り返し聞く (A-B区間リピート)	24

## ラジオを聞く - 応用

ラジオを聞くときのご注意	26
自分で周波数を合わせる (マニュアル選局)	27
放送局を自分で設定する	28
放送局一覧	32
海外でラジオを聞く	34

## その他の機能を使う

高音または低音を強調する (SOUND)	36
音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS)	38
誤操作を防ぐ (ホールド機能)	40
テープカウンターを使う	40

## 電源

乾電池・充電式電池の取り替え時期は	41
コンセントにつないで使う	42

## その他

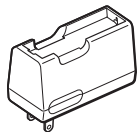
お手入れ	43
使用上のご注意	44
故障かな?	46
保証書とアフターサービス	48
主な仕様	49
各部のなまえ	50

## 主な特長

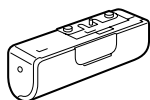
- 付属のステレオマイクまたはラジオからの、オートリバーブ録音機能。(14ページ)
- テープに合わせて選べる3種類の音質、<sup>リバイブ</sup>REVIVE、<sup>メガベース</sup>MEGA BASS、<sup>グルーブ</sup>GROOVE。(36ページ)
- 語学学習に威力を発揮する、A-B 区間リピート機能。(24ページ)
- 16倍速の高速サーチで、前後9曲の頭出しをするAMS。(19ページ)
- 全国8地域とJR新幹線の主な放送局があらかじめプリセット(記憶)された、マニュアルエリアコール機能。(10ページ)
- 充電式電池と乾電池の併用で、約40時間の長時間再生ができる、スタミナタイプ。(41ページ)
- ワンレバーで操作できる、液晶ELバックライト付きジョグリモコン。
- テープカウンター表示。(40ページ)

# 付属品を確かめる

充電器  
国内モデルのみ



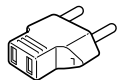
乾電池ケース



キャリングポーチ

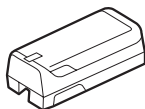


ACプラグアダプター  
(ワールドモデルのみ)



または

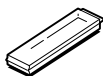
ワールドモデルのみ



ソニーマンガン  
乾電池(単3形)  
R6P(SR)  
(お試用\*)

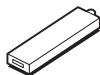


充電地ケース

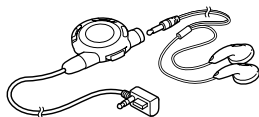


取扱説明書  
ソニーご相談窓口のご案内  
保証書

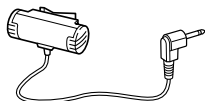
充電式ニカド電池  
NC-6WM



リモコンつきヘッドホン  
(リモコン)



ステレオマイク



\* 付属のマンガン乾電池はお試用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

リモコンつきヘッドホンについて  
付属のリモコンに別売りのヘッドホンを接続する場合は、ステレオミニプラグのものをお使いください。  
マイクロプラグのものは使えません。

# 準備する

お買い上げ時には、充電式電池をまず充電してください。コンセントでの使用の場合は、「コンセントにつないで使う」(42ページ)をご覧ください。

## 1 充電式電池を充電する

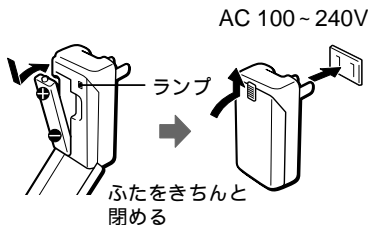
充電式電池は約300回充電できます。

国内モデル用



約2時間で充電完了です。

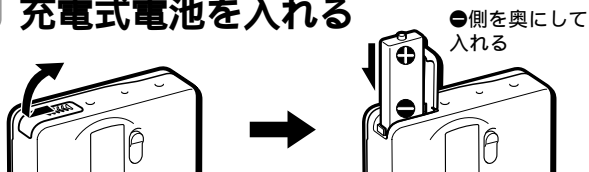
ワールドモデル用



充電器のプラグがコンセントと合わないときは、ACプラグアダプター(ワールドモデルのみ付属)をお使いください。

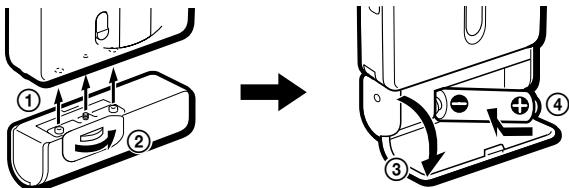
充電時間は約1時間です。充電中はランプが点灯し、充電が完了するとランプは消えます。

## 2 充電式電池を入れる



乾電池で使うときは

充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。

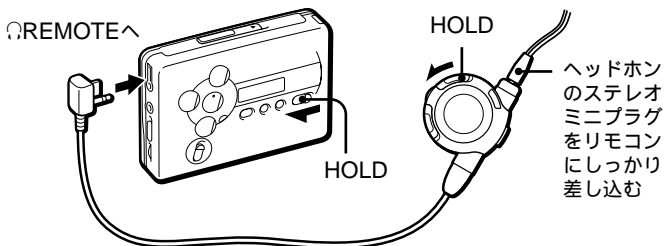


乾電池ケースを  
本体に取り付ける

図のように必ず●側から  
入れてください

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

## 3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する



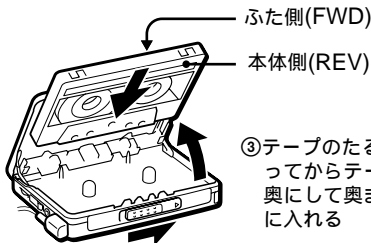
# テープを聞く

TYPE I (ノーマル)、TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル) のテープを自動的に判別し、再生します (オートテープセレクター機能)。

## 1 カセットを入れる

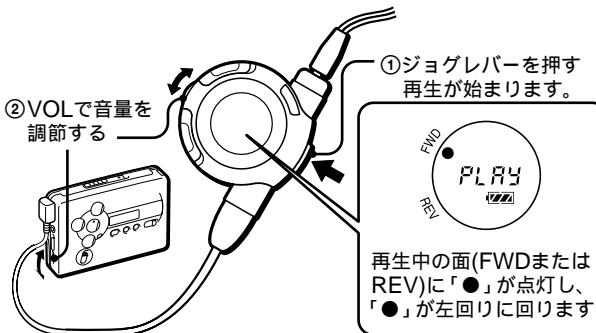
- ① OPENつまみを矢印の方向にずらす

- ② ふたが少し開いたら、手でふたを開ける



- ③ テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる

## 2 再生する(リモコンで操作する)



リモコンで音量調節するときは、本体のVOLつまみを6程度にします。本体で音量調節するときは、リモコンのVOLつまみを最大にします。



ヘッドホンが耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときは、おさまりのいい位置に調節してください。



## その他のテープ操作

操作	ジョグレバーの操作	動作の確認音(リモコン表示)
再生面の切り換え	再生中に1秒以上押したままにする	FWD (ふた側) 面スタート ピ (「FWD」に「●」) REV (本体側) 面スタート ピピ (「REV」に「●」)
停止	再生中に1回押す	ピ
早送り	停止中に上にずらしてすぐ離す	ピ (「FF」が点灯)
巻き戻し	停止中に下にずらしてすぐ離す	ピ (「REW」が点灯)
早送りして反対面を再生(スキップリバース)	停止中に2秒以上、上にずらす	ピ ピ ピ、ピ、ピ、… (「FF」が点滅)
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中に2秒以上、下にずらす	ピ ピ ピピ、ピピ、… (「REW」が点滅)

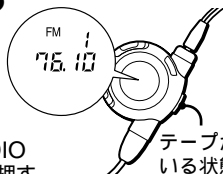
上記以外のテープ操作は、「テープを聞く - 応用」(18ページ)をご覧ください。

**!** カセットぶたを開けるときは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットぶたを開けるとテープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

# ラジオを聞く

本機には全国8地域と新幹線の主な放送局がエリア番号に記憶されているので、エリア番号を選べば、すぐに受信できます(マニュアルエリアコール機能)。

## 1 ラジオをつける

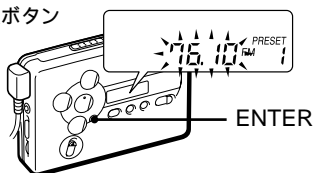


テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す

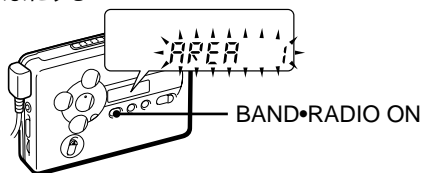
テープ再生中の場合は、ジョグレバーを1度押してテープを止めてから、1秒以上押してラジオをつけてください。

## 2 地域を選ぶ

- ①ENTERボタンを押す



- ②「AREA 1」表示が点滅するまでBAND•RADIO ONボタンを押したままにする

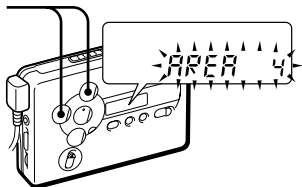


- ③ 表示の点滅中にTUNE/PRESET+または- ボタンを繰り返し押し続けて1~8またはJRのエリア番号を選ぶ。

TUNE/PRESET+ ボタンを押すごとにエリア番号が、1 2 3 4 5 6 7 8 JR USA\* Eur\* 1 2 3...と変わります。

1: 札幌 2: 仙台 3: 北関東 4: 南関東 5: 名古屋  
6: 大阪 7: 広島 8: 福岡 JR: 新幹線

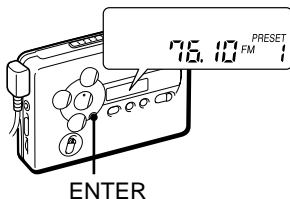
TUNE/  
PRESET+、-



\* エリア番号USAとEurは海外でラジオを使うときのものです(「海外でラジオを聞く」(34ページ)参照)。

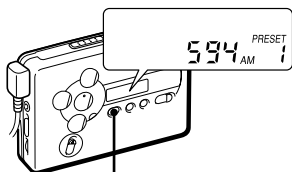
- ・ 表示の点滅が止まった場合は手順2-①から操作し直してください。
- ・ 各エリア番号に記憶されている放送局については「放送局一覧」(32~33ページ)をご覧ください。

- ④ENTERボタンを  
押す

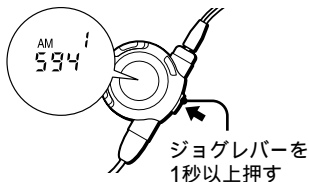


(次ページへつづく)

## 3 AM、FMを選ぶ

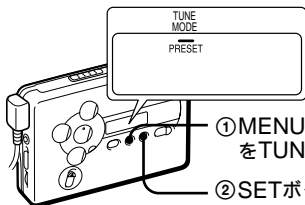


BAND•RADIO ONボタンを押す



ジョグレバーを  
1秒以上押す

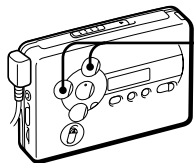
## 4 プリセット選局モードにする



① MENUボタンを繰り返し押し続けてカーソルをTUNE MODEに合わせる

② SETボタンを押して「PRESET」を表示させる

## 5 放送局を選ぶ



TUNE/  
PRESET  
+、- ボタン  
を押す



ジョグレバーを  
上下にずらす

## ラジオを消すには

本体の■・RADIO OFFまたはリモコンのジョグレバーを押します。

## 次にラジオを聞くときは

呼び出した放送局が記憶されています。同じ地域で聞くときは、手順2の操作は不要です。放送局が異なる地域で聞くときは、手順1～5をやり直します。

## 受信状態をよくするには

### AM放送

アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

### FM放送

ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

### うまく受信できないときは

手動で受信して、記憶させてください。(「自分で周波数を合わせる」(27ページ)「放送局を自分で設定する」(28ページ)参照)

# 録音する

オートリバース録音ができます。

録音には、TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

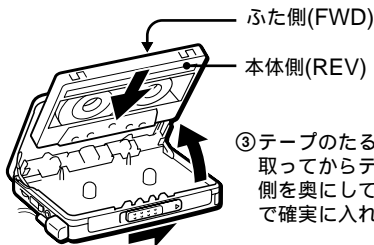
## ご注意

- ツメが折れている面には録音できません。(「大切な録音を守るには」(17ページ)参照)
- 録音するときは、なるべく新しい乾電池や十分に充電した充電式電池をお使いください。

## 1 カセットを入れる

- ① OPENつまみを矢印の方向にずらす

- ② ふたが少し開いたら、手でふたを開ける



- ③ テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる

カセットの入れかた		走行方向表示
両面を続けて録音するとき	録音を始めたい面がふた側になるようにカセットを入れる。	FWD
片面だけに録音したいとき	録音したい面が本体側になるようにカセットを入れる。	REV

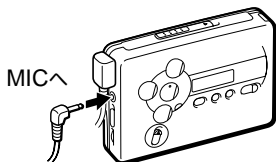
カセットふたを開けると、テープの走行方向は自動的にFWDに設定されます。片面だけに録音するとき、表示がFWDからREVになるまで

- RADIO OFFボタンを押したままにします。

## 2

## 音源を選ぶ

マイク録音の場合  
マイクをつなぐ

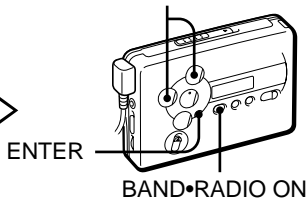
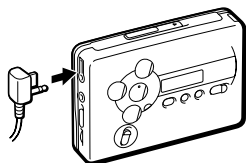


ラジオ録音の場合

①リモコンをつなぐ  
コードがFMのアンテナ  
になっています。

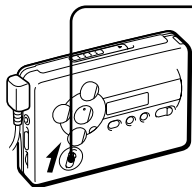
②受信する(「ラジオを聞く」  
(10ページ)参照)

TUNE/PRESET +、-

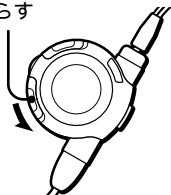


## 3

## 録音を始める



RECスイッチ  
をずらす



本体：表示窓にRECが表示されます。

リモコン：表示窓にRECと周波数が表示されます。

(次ページへつづく)

# 録音する(つづき)

## 録音を止めるには

- RADIO OFFボタンまたはリモコンのジョグレバーを押します。

## AMを録音中に雑音が聞こえたら

本体側面のISSスイッチを、雑音が消える位置(1、2または3)に切り換えます。

## テープが終わりまでくると

ふた側(FWD側)から録音を始めたときは、自動的に本体側(REV側)に切り換わり、REV側の面の終わりまで録音して自動的に止まります(両面録音)。また、REV側から録音を始めたときはその面の終わりまで自動的に止まります(片面のみ録音)。

## 録音レベルについて

録音レベルは一定です。録音される音は、VOLつまみや音質(RV/MB/GRV)、AVLS、□NRの設定に影響されません。

## 録音中の音を聞くときは

- 録音中の音はヘッドホンで聞く(モニターする)ことができます。モニター音はVOLつまみで調節できます。
- 録音中の音を聞くときは、録音を始める前に音質の設定を通常の音質(リモコンではNORM、本体では表示なし)にしておくことをおすすめします。「MB」「GRV」になっているとモニター音に雑音が入ることがありますが、録音される音には影響ありません。

## 録音についてのご注意

- 停止状態またはラジオ受信状態でないと、録音は始まりません。
- 録音中は録音面を切り換えることはできません。
- RECスイッチは録音開始の2秒くらい前に操作してください。直前に操作すると最初の部分が録音されません。
- 電池が消耗すると、録音に雑音が入ったり、性能を十分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換し、充電式電池は充電して録音を開始してください。
- 録音するテープにはTYPE I(ノーマル)テープをお使いください。CrO<sub>2</sub>テープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。



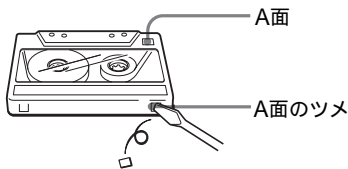
- ・ラジオから録音するときは、録音中にヘッドホンの抜き差しをしないでください。
- ・両面録音時は、FWD側からREV側に切り換わる際の10秒程度は、録音がとぎれます。
- ・録音中は、停止する以外の操作はできません。

## マイク録音について

- ・ヘッドホンで録音モニター中に音量を上げると、その音をマイクが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。この場合には、音量を下げてください。
- ・付属のマイクは、本機につなぐと電源が本機から供給されるプラグインパワー方式です。
- ・録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズを拾うことがあります。
- ・マイクのプラグはときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。プラグが汚れていると雑音の原因になることがあります。

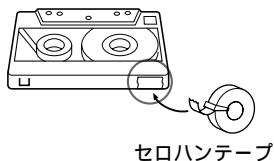
## 大切な録音を守るには

ツメを折って取り除きます。

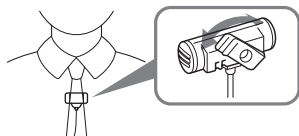


ツメを折った面には、録音することができません。

再び録音するには、穴をふさぎます。



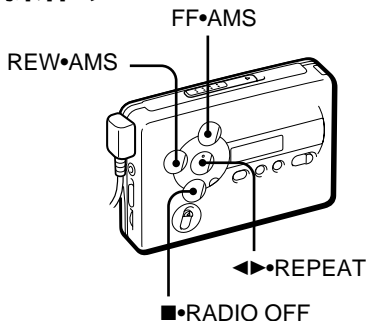
## 付属のマイクを使うには



クリップはマイクを付ける場所に合わせて方向が変えられます。

## ▶テープを聞く - 応用

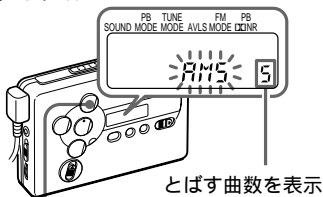
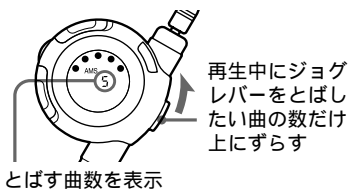
### 本体で操作する



操作	押すボタン	動作の確認音
再生	◀▶•REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
再生面の切り換え	再生中に◀▶•REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
停止	■•RADIO OFF	ピ
早送り	停止中にFF•AMS	ピ
巻き戻し	停止中にREW•AMS	ピ
早送りして反対面を再生 (スキップリバース)	停止中にFF•AMSを 2秒以上	ピ ピ ピ、ピ、...
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中にREW•AMSを 2秒以上	ピ ピ ピピ、ピピ、...

# 好きな曲を頭出しする (AMS - オートミュージックセンサー)

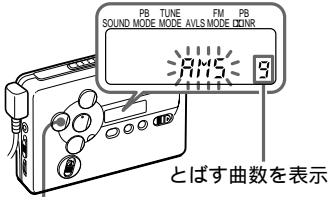
早送りして何曲か先の曲を再生するには



再生中にFF・AMSを  
とばしたい曲の数だけ押す

確認音：ピ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、…

巻き戻して何曲か前の曲を再生するには



再生中にREW・AMSを  
とばしたい曲の数だけ押す

確認音：ピ あと1曲になるとピピッピー、ピピッピー、…

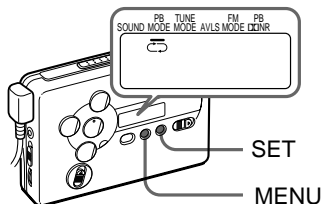
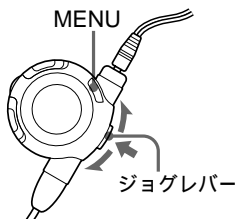
最大9曲までとばすことができます。

AMSが正しく動作しないことがあります

- AMSでは曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後に操作したときは、頭出しができません。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
- AMSの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな?」(46ページ)をご覧ください。

# テープ走行のしかたを選ぶ

プレイバックモード  
(PB MODE)



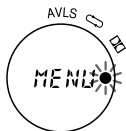
テープ走行のしかたを選べます。

リモコン表示	本体表示 (PB MODE)	モード
☐に「●」点灯	☐	両面を繰り返し再生
☐に表示なし	☐	両面を1回再生*

\* REV面から始めたときはREV面のみを再生して止まります。

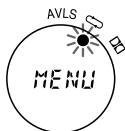
リモコンで操作するには

## 1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする



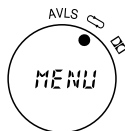
☐に「●」が点灯しているときは、「両面繰り返し」モードにすでに設定されています。

- 2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」を  
↔のところに合わせる



- 3 ジョグレバーを押す

ピーという確認音がして、↔に「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



両面1回再生モードに戻すには  
上記の操作で「●」を消灯させます。

設定の途中でメニュー画面を終了するには  
30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

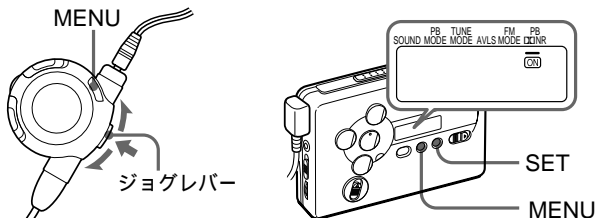
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、PB MODEの位置に合わせます。SETボタンを押して、表示を切り換えます。

ご注意


- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- 設定は、電池を交換しても消えません。




# ドルビー\* B NRで録音されたテープを再生する



録音の特性に合わせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音されたテープの場合には「ON」または「●」を消します。

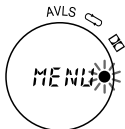
\*ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。


ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

リモコン表示	本体表示 (PB  NR)	モード
 に「●」点灯	ON	ドルビーB NR入
 に表示なし	表示なし	ドルビーB NR切

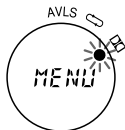
リモコンで操作するには

## 1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする



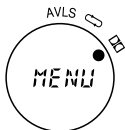
に「●」が点灯しているときは、「ドルビーB NR」モードにすでに設定されています。

- 2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」を□□のところに合わせて



- 3 ジョグレバーを押す

ピーという確認音がして、□□に「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



ドルビーB NRを使わずに録音されたテープの場合には上記の操作で「●」を消灯させます。

設定の途中でメニュー画面を終了するには

30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

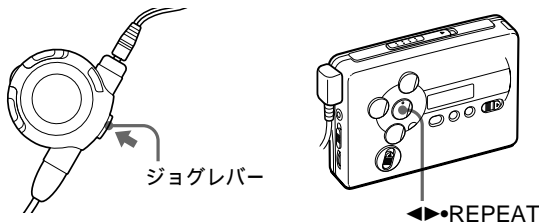
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、PB □□NRの位置に合わせます。SETボタンを押して、「ON」を表示させます。

ご注意

- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- 設定は、電池を交換しても消えません。
- 本機のドルビーB NR機能は再生専用です。ドルビーB NRの設定を「ON」にしても、ドルビーB NR機能を使った録音はできません。

## 指定した区間を繰り返し聞く (A-B区間リピート)



指定した区間を繰り返し聞き出すことができます。

テープ再生中、繰り返し聞きたい区間の最初(A点)と最後(B点)を指定します。

### リモコンで操作する

- 1 テープ再生中にジョグレバーをすばやく2回押して、A点を指定する  
リモコンの表示窓に「REP」が点灯します。
- 2 そのあとでジョグレバーをもう一度押して、B点を指定する  
リモコンの表示窓に「REP」が点滅したあと点灯表示に変わり、指定した区間が繰り返し再生されます。

### 本体で操作する

- 1 テープ再生中に◀▶•REPEATを2秒以上押して、A点を指定する  
本体の表示窓に「A-」が点灯します。



## 2 そのあとで◀▶•REPEATをもう一度押して、B点を指定する

本体の表示窓に「A-B」が点滅したあと「REP」が表示され、指定した区間が繰り返し再生されます。

### A-B区間リピートを止めるには

リモコンのジョグレバーまたは本体の◀▶•REPEATボタンを押します。テープは通常の再生に戻ります。

#### ご注意

- テープのFWD(REV)面からREV(FWD)面にまたがるA-B区間リピートはできません。
- 2秒以下のリピート区間を設定することはできません。
- テープのたるみやテープ操作の繰り返しによって、リピート区間に多少のズレが生じることがあります。
- A-B区間リピートは、50回繰り返すと、通常の再生に戻ります。
- A-B区間リピート中に停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな?」(46ページ)をご覧ください。
- 90分を超えるテープでは、A-B区間リピートはしないでください。テープを傷めるおそれがあります。

## ▶ラジオを聞く - 応用

---

### ラジオを聞くときのご注意

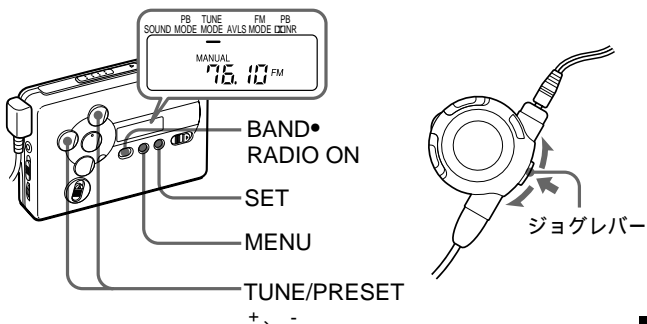
#### 受信するとき

- ・ 本体やリモコンを他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- ・ 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなることがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

#### ステレオ放送を聞くとき

FMのステレオ放送を聞くときは本体のMENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルをFM MODEの位置に合わせ、SETボタンを押して表示なし(ステレオ)にします。電波が強すぎてはずんで聞こえる場合は「LOCAL」を表示させます。雑音が多いときは「MONO」(モノラル)にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。なお、AMはステレオにはなりません。

# 自分で周波数を合わせる(マニュアル選局)

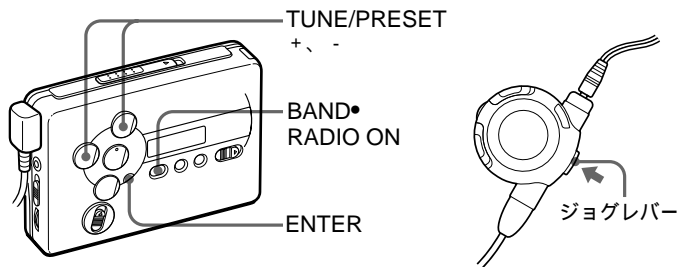


- 1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける  
(リモコンでは、テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す)
- 2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押ししてAMまたはFMを選ぶ  
(リモコンでは、ジョグレバーを1秒以上押す)
- 3 本体のMENUボタンを繰り返し押しして、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる
- 4 SETボタンを押して「MANUAL」を表示させる
- 5 TUNE/PRESET +または- ボタンを繰り返し押しして表示窓を見ながら周波数を合わせる  
(リモコンでは、ジョグレバーを上下にずらす)  
TUNE/PRESET +または- ボタンを長めに押して離すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります(オートスキャン)。電波が弱くて止まらないときは、TUNE/PRESET +または- ボタンを繰り返し押しして周波数を合わせてください。

# 放送局を自分で設定する

## □ 自動で受信して記憶させる (オートメモリースキャン)

受信できる局を自動的に記憶させます。AMまたはFMを各8局まで記憶できます。受信状態のよい場所で操作してください。



- 1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける  
(リモコンでは、テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す)
- 2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押し続けてAMまたはFMを選ぶ  
(リモコンでは、ジョグレバーを1秒以上押す)
- 3 本体の表示窓に「A」表示が出るまでENTERボタンを押し続けたままにする  
受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。  
記憶が完了すると、周波数と表示が止まり、プリセット番号が表示されます。

記憶した放送局を受信するには  
31ページをご覧ください。

放送局を記憶している間に電源を抜かないでください  
受信した放送局が記憶されないことがあります。

## ご注意

電波が弱いときは記憶できる放送局が8局以下になる場合があります。  
エリア番号を切り換えると放送局の記憶は32～33ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

## □ 手動で受信して記憶させる (マニュアルメモリー)

AM、FMを各8局まで記憶できます。

- 1 BAND・RADIO ONボタンを押してラジオをつける  
(リモコンでは、テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す)
- 2 BAND・RADIO ONボタンを繰り返し押し押ししてAMまたはFMを選ぶ  
(リモコンでは、ジョグレバーを1秒以上押す)
- 3 ENTERボタンを押す  
周波数表示が点滅します。
- 4 表示の点滅中\*にTUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押し押しして記憶させたい周波数を表示させ、ENTERボタンを押す  
プリセット番号表示が点滅します。
- 5 表示の点滅中\*にTUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押し押しして記憶させたいプリセット番号を点滅させる
- 6 表示の点滅中にENTERボタンを押す  
これで、選んだ放送局が、選んだプリセット番号に記憶されました。

\*表示の点滅が止まった場合は、手順3から操作し直してください。

記憶した放送局を受信するには  
31ページをご覧ください。

## ご注意

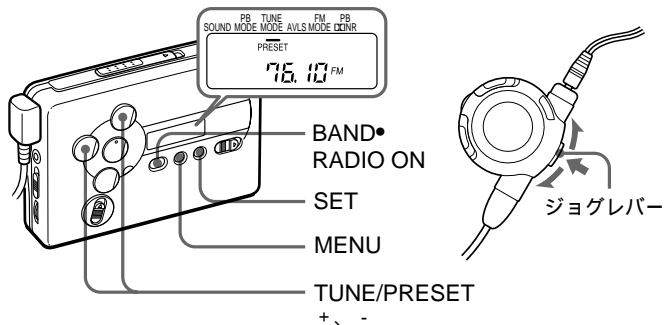
• 同じプリセット番号に、新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。

(次ページへつづく)

## 放送局の記憶を消すには

- 1 29ページの「手動で受信して記憶させる」の手順1から3を行い、周波数表示を点滅させる
- 2 表示の点滅中にTUNE/PRESET+または- ボタンを繰り返し押しして「 - - - - 」\* を表示させる  
\*「 - - - - 」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。
- 3 ENTERボタンを押す  
プリセット番号表示が点滅します。
- 4 表示の点滅中にTUNE/PRESET+または- ボタンを繰り返し押しして消したい放送局のプリセット番号を選ぶ
- 5 ENTERボタンを押す

## □ 記憶した放送局を受信する (プリセット選局)



- 1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける  
(リモコンでは、テープが停止している状態でジョグレバーを1秒以上押す)
- 2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押し続けてAMまたはFMを選ぶ  
(リモコンでは、ジョグレバーを1秒以上押す)
- 3 本体のMENUボタンを繰り返し押し続けて、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる
- 4 SETボタンを押して「PRESET」を表示させる
- 5 TUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押し続けてプリセット番号を選ぶ  
(リモコンでは、ジョグレバーを上下にずらす)

# 放送局一覧

## エリア番号表(エリアコールの放送局一覧)

### AREA 1 札幌 (Sapporo)

バンド	プリセット 番号	周波数	放送局名
AM	1	567kHz	NHK第1放送
	2	747kHz	NHK第2放送
	3	1287kHz	北海道放送
	4	1440kHz	札幌テレビ放送
FM	1	80.4MHz	FM北海道
	2	82.5MHz	FMノースウェーブ
	3	85.2MHz	NHK FM札幌
	4	88.2MHz	NHK FM名寄

### AREA 2 仙台 (Sendai)

AM	1	891kHz	NHK第1放送
	2	1089kHz	NHK第2放送
	3	1260kHz	東北放送
FM	1	77.1MHz	FM仙台
	2	82.5MHz	NHK FM仙台

### AREA 3 北関東 (Northern Kanto)

AM	1	594kHz	NHK第1放送
	2	693kHz	NHK第2放送
	3	810kHz	AFN (旧FEN)
	4	954kHz	TBS
	5	1134kHz	文化放送
	6	1197kHz	茨城放送
	7	1242kHz	ニッポン放送
	8	1530kHz	栃木放送
FM	1	76.4MHz	FM栃木
	2	78.8MHz	放送大学
	3	80.0MHz	TOKYO FM
	4	80.3MHz	NHK FM宇都宮
	5	81.6MHz	NHK FM前橋
	6	83.2MHz	NHK FM水戸
	7	86.3MHz	FM群馬

### AREA 4 南関東 (Southern Kanto)

バンド	プリセット 番号	周波数	放送局名
AM	1	594kHz	NHK第1放送
	2	693kHz	NHK第2放送
	3	810kHz	AFN (旧FEN)
	4	954kHz	TBS
	5	1134kHz	文化放送
	6	1242kHz	ニッポン放送
	7	1422kHz	ラジオ日本
FM	1	76.1MHz	FMインターウェーブ
	2	78.0MHz	FMサウンド千葉
	3	78.6MHz	FM 富士
	4	79.5MHz	FM 埼玉
	5	80.0MHz	TOKYO FM
	6	81.3MHz	FM ジャパン
	7	82.5MHz	NHK FM東京
	8	84.7MHz	横浜FM

### AREA 5 名古屋 (Nagoya)

AM	1	729kHz	NHK第1放送
	2	909kHz	NHK第2放送
	3	1053kHz	CBC中部日本放送
	4	1332kHz	東海ラジオ
	5	1431kHz	岐阜ラジオ
FM	1	77.8MHz	FM名古屋
	2	78.9MHz	FM三重
	3	80.7MHz	FM愛知
	4	81.8MHz	NHK FM津
	5	82.5MHz	NHK FM名古屋
	6	83.6MHz	NHK FM岐阜



**AREA 6 大阪 (Osaka)**

バンドプリセット 番号	周波数	放送局名
AM 1	558kHz	ラジオ関西
2	666kHz	NHK第1放送
3	828kHz	NHK第2放送
4	1008kHz	ABC朝日放送
5	1143kHz	KBS京都
6	1179kHz	毎日放送
7	1314kHz	ラジオ大阪
8	1431kHz	和歌山放送
FM 1	76.5MHz	関西インターメディア
2	80.2MHz	FM802
3	82.8MHz	NHK FM京都
4	85.1MHz	FM大阪
5	86.5MHz	NHK FM神戸
6	88.1MHz	NHK FM大阪
7	89.4MHz	FM京都
8	89.9MHz	FM兵庫

**AREA 7 広島 (Hiroshima)**

AM 1	702kHz	NHK第2放送
2	918kHz	山口放送
3	1071kHz	NHK第1放送
4	1116kHz	南海放送
5	1350kHz	中国放送
6	1575kHz	AFN (IBFEN)
FM 1	78.2MHz	広島FM
2	88.3MHz	NHK FM広島

**AREA 8 福岡 (Fukuoka)**

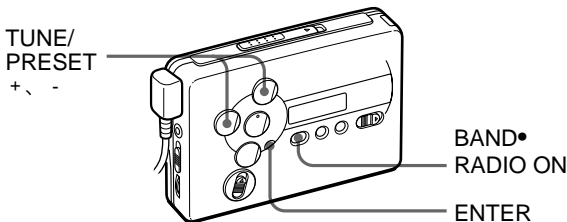
AM 1	612kHz	NHK第1放送
2	1017kHz	NHK第2放送
3	1278kHz	RKB毎日放送
4	1413kHz	九州朝日放送
FM 1	77.9MHz	FM佐賀
2	78.7MHz	FM九州
3	80.7MHz	FM福岡
4	81.6MHz	NHK FM佐賀
5	84.8MHz	NHK FM福岡

**JR JR新幹線\* (Shinkansen)**

バンドプリセット 番号	周波数	放送局名
FM 1	76.0MHz	-
2	76.6MHz	-
3	77.5MHz	-
4	78.8MHz	-
5	79.6MHz	-

\*東京～博多間の新型車両の列車のみ  
(2階建て車両とグリーン車を除く)

# 海外でラジオを聞く



- 1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- 2 ENTERボタンを押して、周波数表示を点滅させる
- 3 「AREA 1」表示が点滅するまでBAND•RADIO ONボタンを押したままにする
- 4 表示の点滅中\*にTUNE/ PRESET + または - ボタンを繰り返し押し、「USA」または「Eur」を選ぶ

\*表示の点滅が止まった場合は手順2から操作し直してください。

受信範囲は下記のようになります。

使う地域	選ぶエリア番号	受信周波数
アメリカ合衆国、カナダ 中南米諸国	USA	FM: 87.5 - 108MHz AM: 530 - 1,710kHz
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz AM: 531 - 1,602kHz

- 5 ENTERボタンを押す
- 6 「自分で周波数を合わせる」(27ページ)または「放送局を自分で設定する」(28ページ)にしたがって受信する

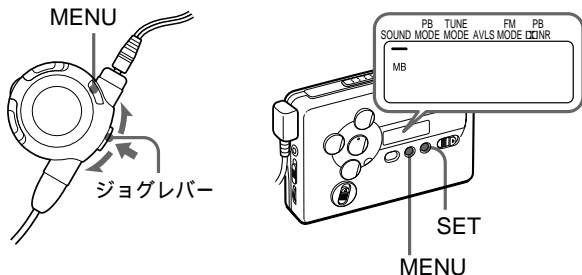
日本の周波数に戻すには

手順1から3にしたがって操作し、手順4で「AREA1～8」または「JR」を選んでENTERボタンを押します。

## ▶その他の機能を使う

# 高音または低音を強調する

## サウンド (SOUND)



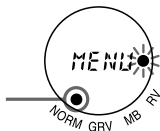
リモコンまたは本体で、好みの音質を選べます。

リモコン表示 (本体のSOUND表示)	音質
リバイブ RV	高音を強調 (古いテープなど、高音にメリハリがないテープを再生するとき)
メガベース MB	低音を強調
グループ GRV	低音をより強調
ノーマル NORM (本体では表示なし)	通常の音質

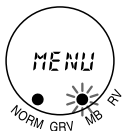
リモコンで操作するには

### 1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする

現在の設定の  
ところに「●」点灯



- 2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」を好みの音質(RV、MB、GRV、またはNORM)のところに合わせる



- 3 ジョグレバーを押す

ピーという確認音がして、選んだ音質のところに「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



設定の途中でメニュー画面を終了するには

30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

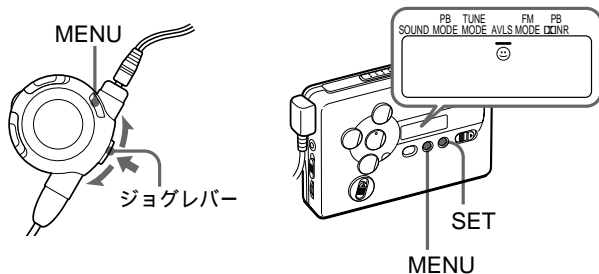
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、SOUNDの位置に合わせます。SETボタンを押して、設定を選びます。通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

ご注意

- GRVにしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、MBまたはNORMにしてお聞きください。
- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- 設定は、電池を交換しても消えません。
- 音質の設定は、録音される音には影響しません。

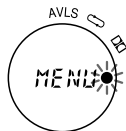
# 音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS—快適音量)



リモコン表示	本体表示 (AVLS)	モード
AVLSに「●」点灯	☺	AVLS入
AVLSに表示なし	表示なし	AVLS切

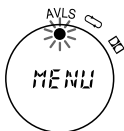
リモコンで操作するには

## 1 MENUボタンを1回押してメニュー画面にする



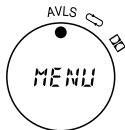
AVLSに「●」が点灯しているときは、AVLS機能がすでに設定されています。

- 2 ジョグレバーを上下にずらして、点滅している「●」をAVLSのところに合わせる



- 3 ジョグレバーを押す

ピーという確認音がして、AVLSに「●」が数秒間点灯した後、現在の動作(再生または停止)表示に戻ります。



AVLS使用中に、低音が強調された曲で、音が波打つように聞こえるときは、音量を下げて使います。

AVLSを解除するには

上記の操作で「●」を消灯させます。

設定の途中でメニュー画面を終了するには

30秒以上操作しないと、メニュー画面は自動的に現在の動作表示に戻りますが、その前にメニュー画面を終了したいときは、MENUボタンを押してください。

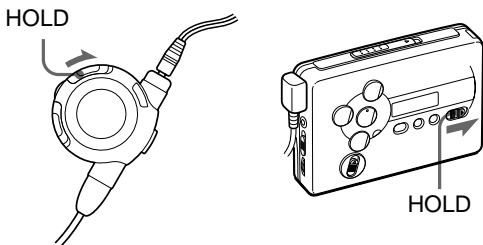
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、AVLSの位置に合わせます。SETボタンを押して、「☺」を表示させます。

ご注意

- ・リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- ・AVLSの設定は、電池を交換すると解除されます。
- ・AVLSの設定は、録音される音には影響しません。

## 誤操作を防ぐ(ホールド機能)



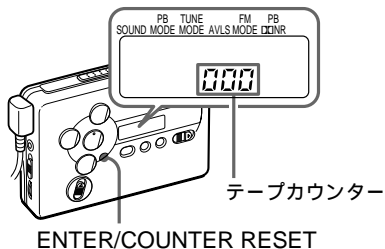
HOLDスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。

## テープカウンターを使う

テープ再生中、録音中、早送り、巻き戻し中、停止中(ラジオ受信時を除く)に表示されます。

FWD面録音/再生中は数字が増え、REV面録音/再生中は数字が減ります。

テープカウンターを「000」に戻すには、ENTER/COUNTER RESETボタンを押します。



### ご注意

- テープカウンター表示は少しずれることがあります。
- カセットテープが入っていないときは、テープカウンターは表示されません。









## 乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点滅します。テープ走行が不安定になったり雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。

乾電池は、別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池の残量がなくなってくると、表示でお知らせします

リモコン表示		→		→	
本体表示		→		→	
意味	残量は充分です。		残量が少なくなってきました。		電池が消耗しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。

### ご注意

- 100%充電されていない充電式電池を入れても残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量(充電時間)に応じて、持続時間は短くなります。
- 早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なく表示されることがあります。

### 電池の持続時間

(EIAJ\*)

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時	マイク録音時	ラジオ録音時
ソニーアルカリ乾電池LR6(WM)	約31.5時間	約32時間	約10時間	約6.5時間
充電式ニカド電池NC-6WM (100%充電にて)	約8.5時間	約10時間	約4時間	約3時間
充電式ニカド電池とソニーアルカリ乾電池の併用	約40時間	約42時間	約13時間	約9時間

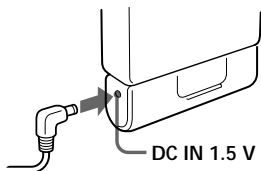
\* EIAJ (日本電子機械工業会)規格による測定値です。(ソニーHF シリーズカセットテープ使用)

### ご注意

- 電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
- 付属のマンガン乾電池はお試用です。マンガン乾電池でご使用になると、A-B区間リピートやAMS中などに停止してしまう場合があります。

# コンセントにつないで使う

- 1 乾電池ケースを本体に取りつける  
充電式電池が入っていたら取り出してください。
- 2 別売りのACパワーアダプター  
AC-E15L(日本国内用)または  
AC-E15HG(海外用)を、乾電池  
ケース側面のDC IN 1.5Vジャック  
につなぐ
- 3 ACパワーアダプターをコンセント  
につなぐ



コンセントにつないで使うときはご注意ください。

- 必ず充電式電池を本体から抜いてください。入れたままで使用すると充電式電池の性能が低下することがあります。
- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E15LまたはAC-E15HG(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- AC-E15HGは、地域により異なる仕様になっています。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえ、お買い求めください。



極性統一形プラグ

## ▶その他

# お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングテープ(CHK-1W)でヘッド、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングテープは指定のものをお使いください

他のクリーニングテープを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

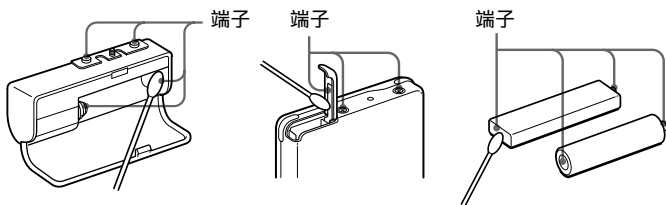
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて

常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

端子のお手入れについて

定期的に図のように各端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



# 使用上のご注意

## 充電・充電式電池について

- ・お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- ・充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- ・充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。

## 日本国内での充電式電池の廃棄について



このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

### Ni-Cd

この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

## 海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

## 取り扱いについて

- ・落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ・リモコンやヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。

- ・次のような場所には置かないでください。
  - －温度が非常に高いところ(60 以上)。
  - －直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - －窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  - －風呂場など湿気の多いところ。
  - －磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - －ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40 以上)や低いところ(0 以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- ・長い間本機を使わなかったときは、1度本機を数分間再生状態にしてからお使い始めください。
- ・動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- ・長時間テープについて  
90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。また、薄いテープで録音すると、高音ののびが悪くなる場合がありますので、なるべくお使いにならないでください。
- ・付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

## ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

## リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

# 故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
A-B区間リピート、AMSや早送り・巻き戻しをするとテープが止まる	消耗した充電式電池または乾電池を使っている。マンガン乾電池を使っている。(A-B区間リピートやAMSなどは再生と比べて電流を多く消費するためです。)	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
	本体またはリモコンのホールド機能が働いている。	ホールドを解除する。「誤操作を防ぐ」(40ページ)参照
テープ操作ができない	カセットが入っていない。	カセットを入れる。
雑音が入ることがある	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
音が途切れる 雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	ヘッドホンのステレオミニプラグおよびリモコンのプラグをきれいにクリーニングする。
	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
A-B区間リピートができない	A-B区間を2秒以内で設定しようとした。	A-B区間を2秒以上に設定する。
RECスイッチをずらすと警告音が鳴り、録音が始まらない	テープの誤消去防止用のツメが折れている。	穴をセロハンテープなどでふさぐ。「大切な録音を守るには」(17ページ)参照

症状	原因	処置
音量が大きくならない	AVLSが働いている。	AVLSを解除する。「音もれを抑え耳にやさしい音にする」(38ページ)参照
低音が強すぎたりひびくように聞こえる	音質がMBまたはGRVになっている。	音質を通常の設定にする。「高音または低音を強調する」(36ページ)参照
動作や表示がおかしい	----	いったん電源・電池(乾電池、充電式電池)をはずして、15秒以上たってから入れ直す。
表示窓の表示が一瞬消えることがある ラジオを聞いたりテープの再生はできるが、録音ができない	電池が消耗している	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外での保証とアフターサービスについて

- ・保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- ・海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。



# 主な仕様

## テープレコーダー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲 (EIAJ)	再生時(DOLBY NR OFF時): 40~15,000 Hz 録音・再生時: 100~8,000 Hz
入力端子	マイク(ステレオミニ)ジャック1個 最小入力レベル 0.4 mV
出力端子	ヘッドホンジャック(専用リモコンジャック)1個 負荷インピーダンス 8~300
実用最大出力(DC時) 電源	3 mW + 3 mW (EIAJ 16 ) DC 1.5 V 充電式電池(付属: NC-6WM、1.2 V、600 mAh、 Ni-Cd) 単3形乾電池1個
電池持続時間(EIAJ)	乾電池、充電式電池の持続時間については「電池の持続時間」 (41ページ)をご覧ください。
最大外形寸法 質量	約108.4 × 77.7 × 23.8 mm (幅/高さ/奥行き) 突起部含む 本体 約150 g ご使用時 約215 g (充電式電池NC-6WM、テープ C- 60HF含む)

## ラジオ部

受信周波数(日本国内) FM(ステレオ): 76.0~90.0MHz  
AM(モノラル): 531~1,710kHz

## 別売りアクセサリ

ACパワーアダプターAC-E15L (日本国内用) ACパワーアダプターAC-E15HG  
(海外用) 充電式ニカド電池 NC-6WM、クリーニングテープ CHK-1W、ステレオ  
イヤレシーバー(ヘッドホン)\*\*MDR-ED238SP (GROOVE対応)、MDR-  
E888SP、カーバッテリーコードDCC-E215

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

国によって扱っているアクセサリが違います。詳しくはお買い上げ店、ソニー  
サービス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

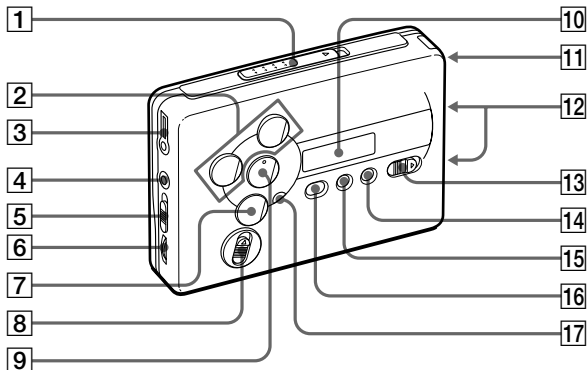
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

\*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

\*\*ヘッドホンは、本体のREMOTEジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐとき  
も、ステレオミニプラグのものをお求めください。

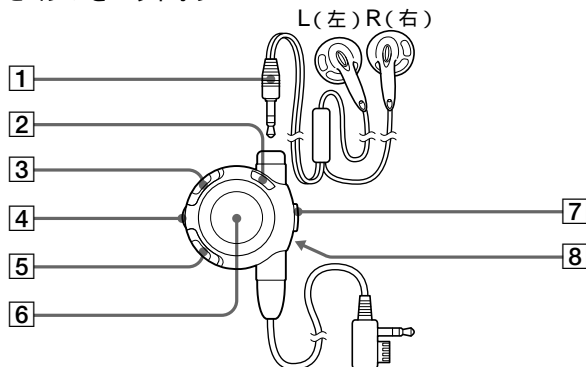
# 各部のなまえ

本体



- |   |   |
|---|---|
| <p>1 オープン<br/>OPEN(カセットふた開け)つまみ</p>   | <p>8 レコーディング<br/>REC(録音)スイッチ</p>  |
| <p>2 テープ時: FF(早送り)・AMS/<br/>REW(巻き戻し)・AMSボタン<br/>ラジオ時: TUNE(選局)<br/>プリセット<br/>PRESET+、- (放送局番号選択)<br/>ボタン</p> | <p>9 ◀▶(再生)・REPEATボタン</p>   |
| <p>3 リモート<br/>REMOTE(ヘッドホン、<br/>リモコン)ジャック</p>   | <p>10 液晶表示窓</p>   |
| <p>4 マイク<br/>MICジャック</p>  | <p>11 充電式電池入れ</p>   |
| <p>5 ISS(AM放送録音妨害除去)ス<br/>イッチ<br/>ボリューム</p>   | <p>12 乾電池ケース用接点</p>   |
| <p>6 VOL(音量調節)つまみ</p>   | <p>13 ホールド<br/>HOLD(誤操作防止)スイッチ</p>  |
| <p>7 テープ時: ■(停止)ボタン<br/>ラジオ時: RADIO OFF(ラジオ<br/>電源切)ボタン</p>   | <p>14 SET(機能設定)ボタン</p>  |
|   | <p>15 メニュー<br/>MENU(機能選択)ボタン</p>  |
|   | <p>16 バンド<br/>BAND(FM、AM選択)・<br/>ラジオ オン<br/>RADIO ON(ラジオ電源入)ボ<br/>タン</p>    |
|   | <p>17 カウンター リセット<br/>テープ時: COUNTER/RESET<br/>ボタン<br/>ラジオ時: ENTER(入力)ボタン</p> |

## リモコンつきヘッドホン



- 1 ステレオミニプラグ  
メニュー
- 2 MENUボタン  
ホールド
- 3 HOLD(誤操作防止)スイッチ  
ボリューム
- 4 VOL(音量調節)つまみ  
レコーディング
- 5 REC(録音)スイッチ
- 6 液晶表示窓\*
- 7 ジョグレバー
- 8 クリップ

\*液晶ELバックライトについて  
リモコン操作時、本体操作時、電池  
残量表示が変化したときなどに、自  
動的に約5秒間点灯します。

## ► Getting Started

### Choosing a Power Source

#### Dry Battery

Attach the supplied battery case, and then insert one R6 (size AA) battery with correct polarity.

#### Note

- For maximum performance we recommend that you use a Sony alkaline battery.

#### Rechargeable Battery

- Insert the supplied rechargeable battery (NC-6WM) into the charger with correct polarity.
- Plug in the charger to the house current (mains).  
**Japanese model:** Full charging takes about 2 hours.  
**“Sony World Model”:** Full charging takes about 1 hour.  
 If the plug does not fit to your mains, attach the supplied AC plug adaptor.
- Insert the fully charged battery into the rechargeable battery compartment.

You can charge the battery about 300 times.

#### Note

- Certain countries may regulate disposal of battery used to power this product. Please consult your local authority.

### When to replace/charge the battery

Replace or charge the battery when “□” flashes in the display. The battery remainder mark has 3 steps to show the remaining battery power.

Display		Condition
Remote control	Main unit	
		There is enough battery power.
↓	↓	
		The battery power is decreasing.
↓	↓	
		The battery is exhausted. Replace it with a new battery.

#### Notes

- When you insert a charged battery, the battery remainder mark may show “” (“” on the main unit) even if it is not fully charged.
- The battery remainder mark may temporarily show a lower level during fast forwarding or rewinding or use in extremely low temperatures.

## Battery life

(Approx. hours) (EIAJ\*)

### Sony alkaline LR6 (SG)

Tape playback	31.5
Radio reception	32
MIC recording	10
Radio recording	6.5

### Rechargeable battery (NC-6WMM)

Tape playback	8.5
Radio reception	10
MIC recording	4
Radio recording	3

### Sony alkaline LR6 (SG) and Rechargeable NC-6WMM

Tape playback	40
Radio reception	42
MIC recording	13
Radio recording	9

\* Measured value by the standard of EIAJ (Electronic Industries Association of Japan). (Using a Sony HF series cassette tape)

### Note

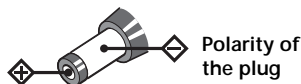
- The battery life may shorten depending on the operation of the unit.

## House Current

Remove the rechargeable battery if inserted. Attach the battery case and connect the AC power adaptor AC-E15L for Japan (not supplied) or AC-E15HG (not supplied) to the DC IN 1.5 V jack of the battery case and to the wall outlet.

Do not use any other AC power adaptor.

Specifications for AC-E15HG vary for each area. Check your local voltage and the polarity of the plug before purchasing.



## Connecting the earphones

- 1 Connect the stereo mini plug firmly to the remote control.
- 2 Connect the remote control to ⓄREMOTE.
- 3 Wear the "L" marked side to the left ear and the "R" marked side to the right ear. If the earphones do not fit to your ears or the sound is unbalanced, adjust the earphones to fit to your ears firmly.

## ▶ *Operating the Walkman*

### Playing a Tape

- 1 Open the cassette holder and insert a cassette.
- 2 Make sure the HOLD function is turned off. If it is on, slide the HOLD switch to turn it off.
- 3 Press the jog lever on the remote control, or press ◀▶•REPEAT on the main unit.  
Adjust the volume with VOL.

#### *When adjusting the volume on the main unit*

Set the VOL control on the remote control at maximum.

#### *When adjusting the volume on the remote control*

Set the VOL control on the main unit to around 6.

#### *Note on the cassette holder*

When opening the cassette holder on the main unit, make sure the tape is stopped, then slide the OPEN switch. If the cassette holder is opened when the tape is running, the tape may loosen and be damaged.

### Operation on the remote control

To	Operation on the jog lever and display
Play the other side	Press for more than a second during playback (Playing side FWD: "●" on "FWD". Playing side REV: "●" on "REV")
Stop playback	Press once during playback
Fast forward	Jog upward for less than a second during stop ("FF" appears)
Rewind	Jog downward for less than a second during stop ("REW" appears)
Play the next track/ succeeding 9 tracks from the beginning (AMS*)	Jog upward once/for the number of tracks to be skipped during playback ("AMS" and the number of tracks to be skipped appear)
Play the current track/ previous 8 tracks from the beginning (AMS*)	Jog downward once/for the number of tracks to be skipped during playback ("AMS" and the number of tracks to be skipped appear)
Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	Jog upward for 2 seconds or more during stop ("FF" flashes)

(continued)

Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	Jog downward for 2 seconds or more during stop ("REW" flashes)
---	--

\* Automatic Music Sensor

## Operation on the main unit

To	Press
Play the other side	◀▶•REPEAT during playback
Stop playback	■ (stop)•RADIO OFF
Fast forward	FF•AMS during stop
Rewind	REW•AMS during stop

Play the next track/ succeeding 9 tracks from the beginning (AMS*)	FF•AMS once/ repeatedly during playback
---	--

Play the current track/previous 8 tracks from the beginning (AMS*)	REW•AMS once/ repeatedly during playback
--	---

Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF•AMS for 2 seconds or more during stop
--	--

Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	REW•AMS for 2 seconds or more during stop
---	---

\* Automatic Music Sensor

## Note on AMS

- The AMS function detects a blank of 4 seconds or longer between the tracks. If there is noise between the tracks, AMS may not recognize the blank and may not operate. Likewise, if there is a low-level segment within a track, AMS may recognize it as a blank space.

## A-B Repeat

A-B Repeat plays back repeatedly any portion of the tape you specified. Specify by tagging the beginning (point A) and the end (point B) of the portion during playback.

## On the remote control

- Press the jog lever twice quickly during playback to tag point A. "REP" appears in the display of the remote control.
- Press the jog lever once more to tag point B. "REP" will flash and the tape will be rewound to point A. Then the specified portion is played repeatedly.

## On the main unit

- Press ◀▶•REPEAT for 2 seconds or more during playback to tag point A. "A" will flash in the display of the main unit.

- 2 Press ◀▶•REPEAT again to tag point B. "A-B" will flash and the tape will be rewound to point A. Then "REP" display and the specified portion is played repeatedly.

### To cancel the A-B Repeat playback

Press the jog lever on the remote control or ◀▶•REPEAT on the main unit.

### Notes

- You cannot specify a repeat portion to include both sides of the tape.
- You cannot specify a repeat portion of shorter than 2 seconds.
- After repeated operation, the actual portion that is played back may shift off somewhat from the exact portion specified with the tags due to tape slack.
- A-B Repeat will repeat 50 times before returning to normal playback if not canceled manually.
- Do not use the A-B Repeat function with tapes longer than 90 minutes. If you do, the tape may be damaged.

## Recording

You can record radio programs from the built-in radio, or record with the supplied microphone. In either case, use a new or fully charged battery.

### Note

- If the record-protect tab is broken, you cannot record on that side.

- 1 Insert a normal (TYPE I) tape. **To record on both sides** Insert the cassette with the side to be first recorded on as the FWD (forward) side\*.

\* Make sure that "FWD" is displayed. If not, press and hold ■•RADIO OFF until "REV" changes to "FWD".

**To record on one side only** Insert the cassette with the side to be recorded on as the REV (reverse) side\*\*.

\*\* Make sure that "REV" is displayed. If not, press and hold ■•RADIO OFF until "FWD" changes to "REV".

### Note

- When the cassette holder is opened, the direction of the tape will be automatically set to "FWD".

- 2 Select a recording source: **To record with the microphone**

Connect the supplied microphone to the MIC (PLUG IN POWER) jack.

**To record from the radio**

Tune in to the station you want to record (see "Listening to the Radio").



- 3** Slide REC.  
“REC” appears in the display and recording starts after about 2 seconds.  
If you have started recording from the FWD side, recording will switch to reverse side automatically at the end of the FWD side.

### To stop recording

Press ■ •RADIO OFF on the main unit or press the jog lever on the remote control.

### To reduce noise while recording AM programs

Set the ISS (Interference Suppress Switch) to the position that reduces noise the most.

### To monitor the recording sound

You can monitor the recording sound through headphones/earphones. Adjust monitoring level using VOL.

#### Note

- You may hear some noise in the monitor sound in the RV, MB, or GRV mode, but this does not affect recording.

#### Notes on recording

- The recording level is fixed.
- Sound emphasis (RV, MB, or GRV), AVLS and Dolby B NR settings do not affect recording.

- Actual recording will start about 2 seconds after you slide REC. Slide REC about 2 seconds before the moment you want to start recording, or you will miss the beginning of your recording.
- When recording on both sides, recording will not be made for about 10 seconds while the tape is switching sides.
- Do not use a CrO<sub>2</sub> (TYPE II) or metal (TYPE IV) tape. If you do, the sound may be distorted when you play back the tape, or the previous recording may not be erased completely.
- Do not connect or disconnect the earphones to/from ◯REMOTE while recording from the radio. The recording condition may change abruptly, or noise may be recorded.
- To avoid noise interference, do not place it near a lamp cord or a fluorescent lamp when recording with the microphone.
- If a howling effect occurs, turn down the volume.
- All other operation cannot be made while recording. For other operation, stop recording first.

### To prevent a tape from being accidentally recorded over

Break off the tabs from side A and/or B. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

## Listening to the Radio

- 1 Press **BAND • RADIO ON** to turn on the radio.
  - 2 Press **BAND • RADIO ON** repeatedly to select AM or FM.
  - 3 Press **MENU** on the main unit repeatedly and set “\_” (the cursor) in the display of the main unit to **TUNE MODE**.
  - 4 For manual tuning
    - ① Press **SET** to choose **MANUAL**.
    - ② Press **TUNE/PRESET +** or **-** repeatedly to tune in to the desired station.  
Keep pressing **TUNE/PRESET +** or **-** to scan for stations.
- For preset tuning**
- ① Press **SET** to choose **PRESET**.
  - ② Press **TUNE/PRESET +** or **-** repeatedly to recall the desired preset station.  
To use preset tuning, preset stations first (see “Tuning in to the Ready-preset Stations for Each Area” or “Presetting Radio Stations”).

### To turn off the radio

Press **■ • RADIO OFF** .

### To improve the broadcast reception

- For **AM**: The Walkman has a built-in antenna. Reorient the Walkman horizontally to obtain optimum AM reception.
- For **FM** : Extend the cord of the remote control, the aerial. If the reception is still not good, press **MENU** repeatedly to set the cursor in the display of the main unit to **FM MODE** . Then press **SET** to choose from “**MONO**” (monaural), “**LOCAL**” or none (stereo) mode for best reception.

### To operate from the remote control

To turn on the radio, press the jog lever for more than one second (while the tape is in stop mode only).

To tune in or recall a preset station, jog the jog lever upward/downward.

To turn off the radio, press the jog lever.

## Tuning in to the Ready-preset Stations for Each Area (Manual Area Call)

For each of the nine areas in Japan (Sapporo, Sendai, Northern Kanto, Southern Kanto, Nagoya, Osaka, Hiroshima, Fukuoka and the Shinkansen), this Walkman is factory preset with frequency data for major stations receivable in the area. Once your present area is selected, you can tune in to the stations on the area by preset tuning. For the factory preset stations for each area, see pages 32 to 33 of the Japanese text.

- 1 Press **BAND • RADIO ON** to turn on the radio.
- 2 Press **ENTER**. The frequency digits will flash in the display.
- 3 Hold down **BAND • RADIO ON** until “AREA 1” flashes.
- 4 While “AREA 1” is flashing, press **TUNE/PRESET+** or **-** repeatedly to select an area number from 1 to 8 or “JR” and then press **ENTER**.
- 5 Tune in to the desired preset station by “preset tuning” (see “Listening to the Radio”).

## Presetting Radio Stations

Once you store your favorite stations in memory, you can play them easily. You can preset up to 16 stations — 8 each for FM and AM.

### Tuning in to and Storing Radio Stations Automatically (Auto-Memory Scanning function)

- 1 Press **BAND • RADIO ON** to turn on the radio.
- 2 Press **BAND • RADIO ON** repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press **ENTER** until “A” appears in the display. The Walkman starts searching and storing stations. Then the preset number appears.

#### *Note*

- Do not remove the power sources until all the stations are stored.

## Storing Radio Stations Manually (Manual-Memory function)

You can preset the stations in any order.

- 1 Press **BAND • RADIO ON** to turn on the radio.
- 2 Press **BAND • RADIO ON** repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press **ENTER**.  
The frequency digits will flash in the display.
- 4 Press **TUNE/PRESET +** or **-** repeatedly to tune in to the desired station and press **ENTER**.  
The preset number will flash in the display.
- 5 Press **TUNE/PRESET +** or **-** repeatedly to select the desired preset number and press **ENTER**.  
The station is preset to the number of your choice.

### Notes

- If you cannot complete step 4 or 5 while the indications are flashing, repeat from step 3.
- If you preset a new station to the same preset number, the previously stored station will be erased.

## To cancel the stored station

Follow the procedure above and in step 4, instead of tuning in to a station, press and hold **TUNE/PRESET +** or **-** until “----” is displayed. Press **ENTER** while “----” is flashing. The preset number will flash in the display. Press **TUNE/PRESET +** or **-** repeatedly to select the preset number you want to cancel and press **ENTER**.

## Receiving Stations Outside Japan

- 1 Press **BAND • RADIO ON** to turn on the radio.
- 2 Press **ENTER**.  
The frequency digits will flash in the display.
- 3 Press and hold **BAND • RADIO ON** until “AREA 1” flashes.
- 4 While “AREA 1” is flashing, press **TUNE/PRESET +** or **-** to select “USA” or “Eur”.
- 5 Press **ENTER**.
- 6 Tune in to and store stations as necessary following the procedure of “Listening to the Radio” and “Presetting Radio Stations”.

## Area indication and frequency range

Area*	Frequency range	
	FM (MHz)	AM (kHz)
USA	87.5-108	530-1,710
Eur	87.5-108	531-1,602
Japan (AREA 1-8, JR)	76-90	531-1,710

\*USA : USA, Canada, and Central and South America

Eur : European and other countries

## To receive stations in Japan

Select "AREA 1 to 8" or "JR" in step 4 above.

## Using the Menu

### Adjusting playback modes

You can adjust the following playback modes using the Menu function on the remote control or on the main unit.

AVLS: Turn on to limit the maximum volume to protect your hearing (Automatic Volume Limiter System) (on the main unit, "☺" indicates "on").

↔ (PB MODE): Turn on to play both sides repeatedly (on the main unit, "↔" indicates "on").

Plays both sides once from the FWD side when turned off (on the main unit, "↔" indicates "off").

□□ (PB □□NR): Turn on when you play back a tape recorded with the Dolby\* B NR system (on the main unit, "ON" indicates "on").

\* Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation.  
"DOLBY" and the double-D symbol □□ are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

### Notes

- The playback modes can be set or canceled separately.
- The playback modes cannot be adjusted while recording.

### On the remote control

- 1 Press MENU to enter the menu mode. "●" (the cursor) will flash in the display of the remote control.
- 2 Jog the jog lever upward/downward repeatedly until "●" flashes on the playback mode to be adjusted.
- 3 Press the jog lever to enter. You will hear a short beep and "●" will appear for a few seconds. Then, the display will exit the menu mode.

### To cancel a playback mode

On the remote control, repeat the above so that “●” disappears on the playback mode to be adjusted.

### To display the playback mode status on the remote control

Press MENU to enter the menu mode. The active playback mode(s) will be marked by the “●”.

### On the main unit

- 1 Press MENU repeatedly to move “\_” (the cursor) in the display of the main unit to the playback mode to be adjusted.
- 2 Press SET repeatedly to select the playback mode to your choice.

### Note

- If the sound is distorted when you listen to the bass-boosted sound with AVLS function, turn down the volume.

---

## Emphasizing Sound

You can choose one of the following sound emphases using the Menu function on the remote control or on the main unit.

RV : Sound Revitalizer.

Emphasizes treble sound.

MB : Mega Bass.

Emphasizes bass sound (moderate effect).

GRV : Groove.

Emphasizes bass sound (strong effect).

NORM (no message on the main unit) : normal (no effect).

### On the remote control

- 1 Press MENU to enter the menu mode. “●” will flash in the display.
- 2 Jog the jog lever upward/downward repeatedly until “●” flashes on the sound emphasis of your choice.
- 3 Press the jog lever to enter. You will hear a short beep and “●” will appear for a few seconds. Then, the display will exit the menu mode.

### To display the sound emphasis status on the remote control

Press MENU to enter the menu mode. The active sound emphasis will be marked by the “●”.

## On the main unit

- 1 Press MENU repeatedly to move “\_” in the display to SOUND.
- 2 Press SET repeatedly to select the sound emphasis of your choice.

### Note

- If the sound becomes distorted with the GRV effect, select MB or NORM (no message).

### Notes on the menu mode

- You cannot operate the tape from the remote control while you are in the menu mode.
- When you press the jog lever to enter, or if you leave the remote control unoperated for more than 30 seconds, the display will exit the menu mode automatically. To exit the menu mode manually, press MENU again.
- The menu setting (except for AVLS) is stored even after the battery is replaced.

## Using Other Functions

### To lock the controls — Hold function

Slide HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls.

### To use the tape counter

The tape counter is displayed on the main unit during playback, recording, fast forward, rewind, and stop (except when the radio is turned on). The number will increase when playing back the FWD side, and decrease when playing back the REV side. To reset the counter to “000”, press ENTER/COUNTER RESET.

### Notes

- The tape counter may show some deviation.
- The tape counter will not be displayed when the cassette compartment is empty.

---

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

---

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311

● Fax …………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金  
9:00～20:00

土・日・祝日  
9:00～17:00